

## 毎年恒例となっている「ぐるなび忘年会キャンペーン」を、今年も10月より展開しています

“忘年会はお祭りだ。”

忘年会は、人と人との絆を確認し育む機会であり、仲間たちと互いに一年の労をねぎらい、来年への力を養う日本の良き伝統です。日本の“お祭り”に文化的意義があるように、忘年会もまた、大切な行事だと再認識して欲しい。そういう思いからこの言葉は生まれました。

このキャッチコピーのもと、TVCM、新聞広告、WEB広告などを展開し、忘年会シーズンの盛り上げりを創出していきます。

取締役執行役員  
齊藤 美保

## ▶メッセージ

2008年より始まった当社の忘年会キャンペーンも8回目になりました。その間、景気や流行など飲食店を取り巻く状況は様々に変化しましたが、飲食店のサポーターである私たちぐるなびの営業は、飲食店が忘年会を楽しみにしているお客様を万全の態勢で迎えられるよう、その時々忘年会の傾向を調査分析し、支援し続けてきました。『ぐるなび』のホームページでは、飲食店の発信する詳細な情報をもとに、希望に合ったお店を選ぶことができます。是非『ぐるなび』でお店を探して、多くの方と最高の忘年会をお楽しみください。

## 株主還元

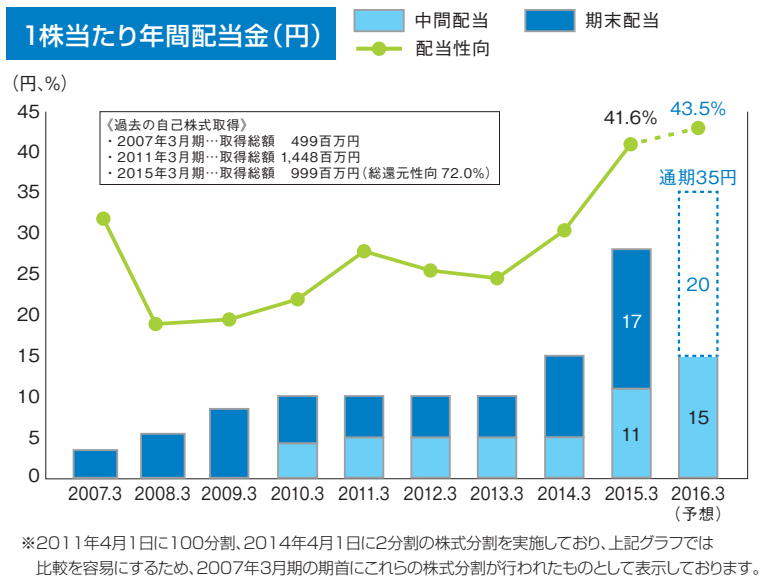
## ◆ 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様への利益配分を経営の重要課題として捉えており、企業価値の最大化を念頭に、健全な財務体質の維持および積極的な事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案しつつ、収益状況に応じた利益還元を実施することを基本方針としております。この方針のもと、連結業績ならびに株主資本利益率(ROE)などを勘案しつつ、連結配当性向40%程度を基準とし、継続的な利益配分に取り組んでおります。

## ◆ 第27期 配当金について

中間配当 当初の予定通り1株当たり15円といたしました。

通期の見通し 期末配当20円と合わせ年間35円を予定しております。



## 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関及び連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
URL <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 当社ホームページのご紹介

ホームページの「投資家情報」では、決算情報やIR資料、最新のニュースリリースなどを掲載しております。

URL <http://www.gnavi.co.jp/company/ir/>

ぐるなびIR 検索

(将来情報に関する注記)本報告書に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確定な要素を含んだものであることをご理解ください。



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社サービスの対象である外食産業は、原材料価格の上昇など厳しい経営環境が続いており、消費動向の変化への対応により、その業況にはばらつきが見られます。

このような状況の中、当社は「世界に誇れる日本の外食文化を守り育てる。そのために食材をも守り育てる。」との考え方のもと、外食文化の担い手である飲食店やシェフ、そして食材の生産者を支援すべく、事業に取り組んでおります。

当第27期においては、第25期より推進している地方営業所の増設、地方自治体との連携強化、訪日外客数の増加に対応した飲食店の外国人客受入態勢整備の支援策の推進などを通じて、有料加盟店舗数の拡大に加速の兆しが見え始めています。またインターネットユーザーの「ぐるなびWEB予約システム」利用件数が増加するなど、当社サイト『ぐるなび』のメディア価値向上を背景に飲食店販促サービスは順調な拡大を続けております。

今後も、株主の皆様、またユーザー、飲食店、生産者の皆様のご期待に応えるべく、全社一丸となってこれらの取り組みを強力に推進し、中長期的な事業の成長につなげてまいる所存です。

株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 久保 征一郎

## 第27期 中間期決算の概要

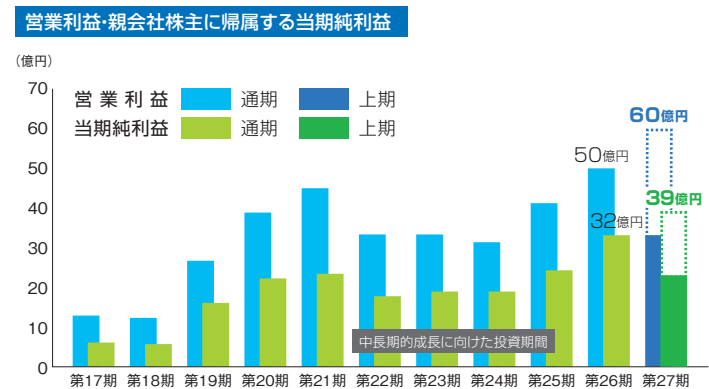
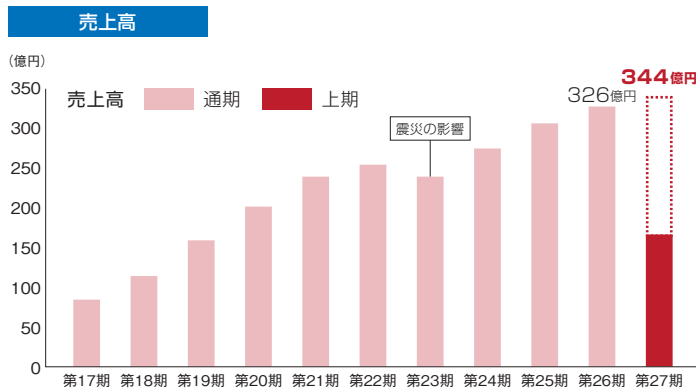
売上高163億円(前年同期比4.9%増)、営業利益32億円(同40.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益22億円(同48.1%増)いずれも中間期での過去最高となりました。

第27期中間期の詳細な業績につきましては、こちらをご覧ください。  
→IR資料室 <http://www.gnavi.co.jp/company/ir/library/>

ぐるなびIR資料室 検索

## 通期連結業績予想を上方修正 (2015年10月29日発表)

売上高344億円(前期比5.4%増)、営業利益60億円(同17.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益39億円(同18.9%増)を計画しております。



## 当社サービスの提供エリアを拡大 地域に根ざした飲食店支援の強化 有料加盟店舗数の拡大へ

**Q.一昨年は静岡、昨年は鹿児島・金沢・新潟、そして今年は岡山・茨城と営業拠点拡大を積極化していますが、その背景は？**

日本の食文化を守り育てることを目指す当社にとって、各地の食の魅力発信、そしてそれを支える各地の飲食店の経営支援強化に向けた拠点拡大は重要な施策です。近年、新たな新幹線の開業により国内の人の流れが大きく変わる中、地方の飲食店も、地元の生活者だけでなく観光・出張客といった地元以外の方々にも効果的に情報発信ができるインターネット活用への意識が高まっています。

各地を訪れる方々にとっても旅先での食を満喫するためには正確・詳細・最新の飲食店情報、新たな旅の魅力発見につながる現地ならではの情報が重要になっています。このような変化は、まさに当社サービスが大きく貢献できる好機と捉えています。前期、前々期に開設した営業所の活動成果は、すでに有料加盟店舗数の増加という形で表れ始めています。当期新設した岡山・茨城、そして今後開設を予定している営業所の成果も加わることで、その増加ペースを一層加速していけると考えています。「いい外食にはいい

食材が不可欠。食材をも守り育てる。」という考えのもと、生産者とシェフを直接つなぐことで飲食店側のメニュー開発と生産者側の食材の販路拡大を同時に支援する取り組みにも注力していますが、新設したエリアはいずれも品質の高い食材に溢れており、食材プロモーション事業の成長にもつながると期待しています。

## 自治体が取り組む 食文化振興・観光振興の推進 地域経済の活性化に向けて、 当社の事業インフラ・ノウハウを提供

**Q.地方展開を強化する中で、自治体との連携を進めています、その目的は？**

将来にわたり活力ある地域社会を維持していくために、各自治体がそれぞれの特徴を活かした地域活性化施策を進めています、多くの自治体が「食」を重要な特徴のひとつと捉えています。そこで、当社の事業インフラやノウハウを総合的に提供することで、各自治体が食文化振興・観光振興等の推進や、食を通じた地域活性化を図れるよう、現在6つの自治体（※詳細下部）と協定を締結しています。地方展開の強化を進める当社にとっても、自治体との連携は事業拡大の基盤強化につながるため、非常に大きな意味を持っています。

**Q.具体的にはどのような取り組みを実施されていますか？**

食文化振興では、産地毎に厳選された食材を加盟店でメニュー化し生活者へ届ける『産地フェア』や、当社加盟店のシェフがそれぞれのお店の常連客に向けて食材の魅力を料理を通して発信する『シェフの日（料理教室）』等、食材プロモーションの仕組みを活用し、各自治体の地元産品の認知拡大・消費拡大を推進しています。観光振興では、地元ならではの現地情報を地元住民や出身者が発信することで、知られざる旅の魅力を提案し観光需要の創出につなげる『旅情報サイトぐるたび』内に各自治体の公式ページを設け、食に関連した行事のPR等観光に役立つ情報を発信しています。さらに、地方を訪れる外国人旅行者が増えていることから、『ぐるたび外国語版』による飲食店情報の多言語発信・飲食店の外国人客受入態勢整備の支援に取り組んでいます。

## 地方創生・観光立国・農業の産業化等の政策との高いシナジー

**Q.今後の展望についてお聞かせください。**

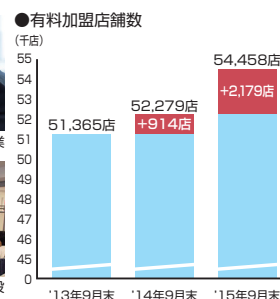
当社が営業拠点の拡大を軸に展開する「飲食店支援の強化」「自治体との連携」「観光需要の創出」「食材のプロモーション」といった取り組みは、地方創生・観光立国・農業の産業化等の政策との高いシナジーを有して

います。当社は今後もさらに営業所を新設し、また全国の自治体と連携しながら、各地に存在する個性豊かな飲食店、優れた食材、多彩な食文化や、観光資源等の魅力を国内のみならず海外に向けても発信することで、世界に誇れる日本の食文化を守り育てていきたいと考えています。



代表取締役社長 久保 征一郎

## 有料加盟店舗数の拡大 ～各地の飲食店情報の充実～



### 目的

- 各地に存在する多彩な外食文化の発信
- 「外食のオフィシャルサイトぐるたび」の価値向上
- 飲食店販促支援事業の収益拡大

### 施策

- 地域に根ざした飲食店支援に向けた営業拠点拡大
- 飲食組合・商店会・地場企業等、地元団体との連携による効率的な営業活動

## 自治体との連携 ～地域活性化に向けた協定締結～



### 目的

- 食文化振興・観光振興等の推進
- 地域経済活性化の促進
- 当事業展開の基盤強化・拡大

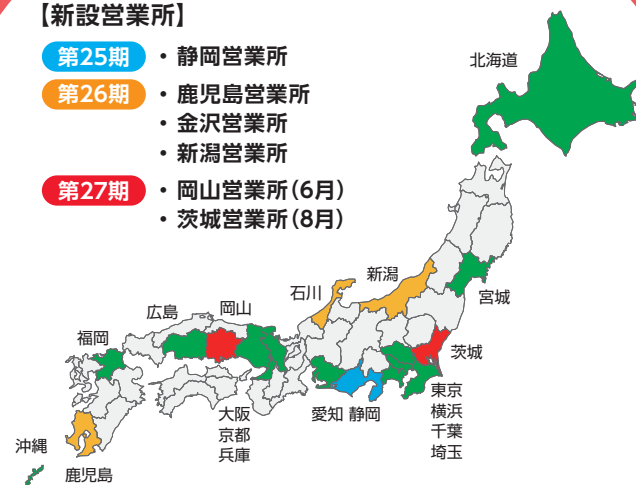
### 施策

- 地元産品の認知および消費拡大に向けたプロモーション
- 食に関連した行事のPR等、観光情報の発信
- 飲食店の外国人客受入態勢整備の支援

## 全国19箇所の営業所を拠点に 日本の食文化を守り育てる

### 【新設営業所】

- 第25期 ・ 静岡営業所
- 第26期 ・ 鹿児島営業所  
・ 金沢営業所  
・ 新潟営業所
- 第27期 ・ 岡山営業所(6月)  
・ 茨城営業所(8月)



今後さらに拡大を予定！

## 地域情報・観光情報の発信 ～旅情報サイト「ぐるたび」リニューアル～



▲ぐるたびHOME



▲京都市特設ページ

### 目的

- 各地域ならではの詳細な現地情報の発信による観光需要の創出
- 現地発信型の情報による新たな旅のスタイルの提案

### 施策

- 実名登録する地元住民・出身者による情報発信
- 専門性の高い観光ライターや、地元に着目したライターによる提案型の記事配信
- 自治体連携による観光に役立つイベント情報発信

## 生産者とシェフをつなぐ取り組み ～地産地消・地産他消への対応～



▲産地フェアWEBページ



▲食材の魅力をシェフが伝える「シェフの日(料理教室)」

### 目的

- 優れた食材の認知および販路拡大
- 飲食店のこだわりメニュー開発支援
- 生産者のネットワーク化およびプロモーション事業の成長

### 施策

- 産地毎に厳選された食材を加盟店でメニュー化し、生活者へ届ける『産地フェア』の開催
- シェフ自らが目利きした食材の魅力を料理を通して生活者へ発信する『シェフの日(料理教室)』の開催